

的確な水管理で、健全な稲体を作ろう！

H23 平均気温・伏木

播種後の天候がやや不順であったため、出芽・苗立ちが少なく、生育はやや遅れ気味です（右表参照）。

今後は生育状況を見ながら、遅れずに中干しを実施し、出穂後20日間の湛水管理に備えましょう。

5/27 生育調査結果(コヒカリ)

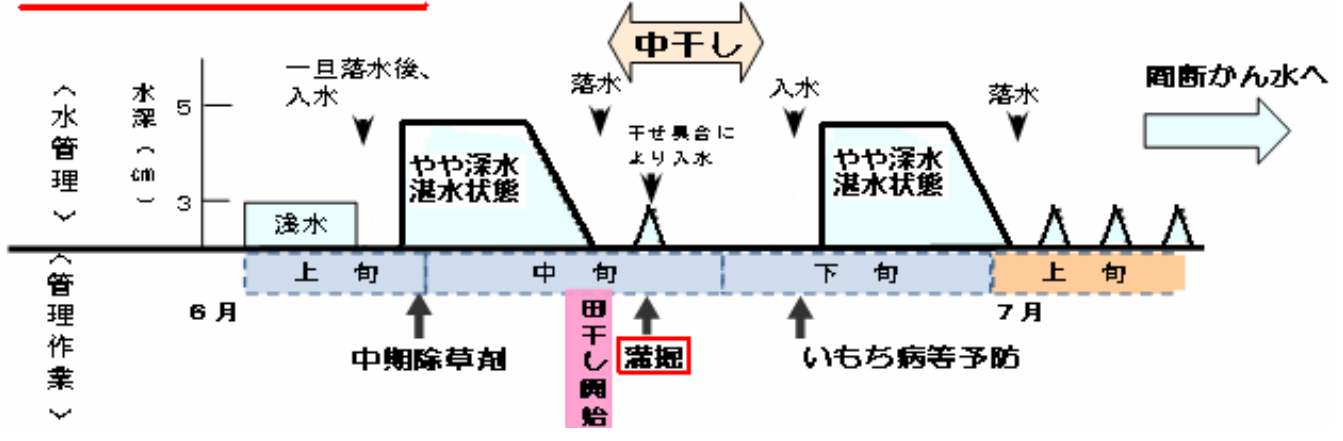
	播種日	苗立本数	葉齢
H23	5/3	53 本/㎡	2.7
H22	5/3	89 本/㎡	2.8
H21	5/3	64 本/㎡	3.1
平年	5/1	65 本/㎡	3.3

※H23：射水市ほ場3ヶ所平均

平年：過去11年間の平均

	平年差
4月6半旬	-1.6
5月1半旬	-0.8
5月2半旬	+1.0
5月3半旬	-0.1
5月4半旬	+2.2
5月5半旬	-0.7
5月6半旬	-1.8

6月以降の管理イメージ図



ポイント1 除草剤散布

＜中期剤：適期を逃さず散布＞

＜後期剤：草種に合わせた剤を使用＞

薬剤名	使用時期	使用量/10a
ガーベックスDX 1キロ粒剤	イネ5葉期～ ヒエ3葉期まで (収穫60日前まで)	1kg
マメットSM 1キロ粒剤	イネ5葉期～ ヒエ3葉期まで (収穫90日前まで)	1kg

草種	薬剤名	使用時期	使用量/10a
ヒエ専用	ヒエクリーン 1キロ粒剤	イネ3葉期 ヒエ4葉期まで (収穫45日前まで)	1kg
ヒエ+多年生広葉雑草	クインチャーパス ME液剤	ヒエ5葉期まで (収穫50日前まで)	1ℓ 希釈水量 70～100ℓ
クサネム+イネクサ	ミニ液剤	イネ4葉期以降 (収穫60日前まで)	100mℓ 希釈水量 100ℓ

※高温(30℃以上)が予想される場合は、散布しない

※※散布後4～5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水しない。

ポイント2 中干し

○手溝は、中干しに合わせて必ず掘りましょう。

○有効茎80%程度⇒95本/m(約317本/㎡)を確認したら、遅れず実施しましょう。

出穂後20日間の湛水管理に備えて、
しっかり中干しを！！

ポイント3 病害予防

薬剤名	適用病害名	使用時期	使用量/10a	使用上の注意
オリブライト 1キロ粒剤	いもち病、紋枯病、白葉枯病	6月25日頃 (収穫45日前まで)	1kg	・散布後4～5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水しない。

作業が終わったら、生産履歴とGAPチェックシートを記入しましょう。